

【応募用紙】

提出いただいた応募書類（規約・会則等、役員名簿、収支書類を除く）は、活動内容紹介のため、ホームページ上に公開します。

1. 応募者概要

氏名または 団体名	(ふりがな: あさひきたちくれんごうじちかい なかぼりがわいこいのばづくり) 旭北地区連合自治会 中堀川いこいの場づくり		
代表者の 役職・氏名 (団体の場合)	(ふりがな: しぶや はちろう) (役職) (氏名) 旭北地区連合自治会会長 渋谷 八郎	会員数 (団体の場合)	(令和2年4月現在) 連合会員総数 4,881 名 中堀川いこいの場づくり構成員 12 名
ホームペー ジ アドレス		活動開始年月	昭和・平成 30年 4月
活動地域 (複数選択可)	① 横浜市 (旭) 区 2 横浜市全域 3 その他()		
活動分野 (複数選択可)	① 川・海・水 ② 緑・樹林 3 農業 4 3R 5 環境教育・学習 ⑥ 生物多様性 ⑦ 地球温暖化対策 8 その他()		
活動の目的 やねらい	地域の皆様の協力を得て、中堀川プロムナードの清掃・植栽や児童の絵画展示をするなどの美化を行い地域のいこいの場とするとともに、ホテルの復活をめざします。		
過去に受けた 表彰および受 賞年度	(例) 横浜□□賞(平成○年度)		

2 最近3年間の主な活動

	活動・取組・イベント等の名称 発行した印刷物等の名称	参加人数、 発行部数等	詳細内容
平成 30 年 度	○中堀川いこいの場づくり	13 名	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の活動予定および活動参加者の募集 ・中堀川流域企業より花苗提供 (5/20) により植栽 ・団体購入の花苗植栽 (12/16、25) ・中堀川沿いクリエイトおよび県公社付近フェンス (12/16) ・上白根コミュニティハウス流域付近フェンス (1/14) ・中堀川最上流部付近フェンス (3/14)
	○プロムナード花苗植栽	10 名	
	○プロムナードギャラリー	15 名	
	白根小、上白根小児童制作 絵画展示	86 枚 70 枚 28 枚	
令 和 元 年 度	○中堀川いこいの場づくり	延べ 125 名	<ul style="list-style-type: none"> ・活動目的、活動内容の周知 (定例会月 2 回、第 1 火曜日、第 2・3 日曜日の奇数月、偶数月交互開催) ・「中堀川いこいの場づくり」だより発行 (9 月)、地区回覧 ・苗木、花苗をクリエイト裏および最上流部付近に植栽 ・大原南自治会子ども会 (親子で参加) による花壇の草刈り、植栽を行う (5 月、7 月、9 月) ・上流部およびクリエイト裏に花苗植栽 (12 月) ・上流部およびクリエイト裏に花苗植栽 (3 月) ・白根小学校児童の絵画展示 (自由課題) (10 月)
	○プロムナード植栽活動	500 枚 6 名 15 名	
		7 名	
	○プロムナードギャラリー	12 名 80 枚	

	○ホタル生息を目指す取組	90 枚 19 名 5 名 4 名 3 名 8 名 6 名 14 名	<ul style="list-style-type: none"> ・上白根小学校児童の絵画展示（中堀川ホタル復活）（3月） ・他の地域活動団体「横浜ほたるの会」と協議し、開催した講習会で指導を受けた。（10月） ・ゲンジボタルの幼虫を入手（100頭） ・幼虫の育成等についての講座を開催（11/16） ・ホタル飼育水槽水替え講習会を開催（1月） ・愛川町「松葉沢ホタル保存会」訪問（幼虫、カワニナ飼育現場見学） ・幼虫の放流に向けて環境整備の一環として水際付近の土手に砂利のすき込み（2月） ・（ホタルの餌）カワニナ採取、ホタル放流予定地に放流（3月） ・愛川町よりホタルの幼虫 50 頭提供 ・松葉沢ホタル保存会の幼虫放流見学 ・ホタルの幼虫を 120 頭放流（3/16） ・地区の保健活動推進委員より健康プレートの設置について相談があり、旭区福祉保健課と相談の上、健康パネルを 2 か所 9 パネル設置
	○その他活動		
令和 2 年度	○中堀川いこいの場づくり	6 名	<ul style="list-style-type: none"> ・クリエイト裏フェンス際花壇草刈（7/19） ・連合自治会定例理事会で「いこいの場活動メンバー募集ポスター」回覧依頼 ・メンバー募集ポスター 10 枚プロムナードフェンスに掲示（10/6）
	○ホタル生息を目指す取組	延 30 名 延 10 名 11 名 累計 20 名	<ul style="list-style-type: none"> ・ホタル観察会（6/2 初見 4 頭確認）5/27～6/22（6/20 終見 1 頭） ・ホタルの幼虫の飼育小屋を作り管理しやすい環境作り（10月） ・ホタル飼育講習会開催（10/31） ・カワニナ、ホタル幼虫飼育継続 ・ホタル幼虫飼育状況見学会開催案内（第 1 日曜日 10 時、計 4 回開催） ・今年度は地域の中高生にも参加を呼び掛ける。 ・ポスターの掲示、広報誌の発行（季刊発行を目指す）
	○プロムナードギャラリー		<ul style="list-style-type: none"> ・HP、ブログ等の開設検討、実施
	○プロムナードPR活動		<ul style="list-style-type: none"> ・「中堀川いこいの場づくり」便り 2 号発刊予定
	○プロムナード流域清掃活動		<ul style="list-style-type: none"> ・定例活動日（毎月第一火曜、偶数月第 2 日曜、奇数月第 3 日曜）のゴミ拾い実施 ・上白根町内会と連携を図り、年 2 回の歩道街渠の花植、緑化、清掃（月 1 回）
	○児童課外活動の花育		<ul style="list-style-type: none"> ・花育を通して中堀川プロムナード沿いへの移植等花育の具現化を目指す

※ 現在活動休止中の場合でも、今後継続して取り組む見込みがある場合は応募の対象とします。

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、現在活動休止中の場合には、「詳細内容」の部分にその旨を御記入ください。※ 現在活動休止中の場合でも、今後継続して取り組む見込みがある場合は応募の対象とします。

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、現在活動休止中の場合には、「詳細内容」の部分にその旨を御記入ください。

3 地域との関わり

	活動・取組等の名称	詳細内容
自治会・町内会との関わり	活動全般	旭北地区連合及び連合未加入の上白根町内会に、活動予定や活動報告を情報提供することにより、活動全般に参加してもらっている。
学校との関わり	プロムナードギャラリー	上白根小学校と白根小学校の協力を得て、児童の描いた絵(中堀川プロムナードに関わる)をプロムナードの上流と下流のフェンスに飾ることで、保護者等関係者がプロムナードを訪れる機会とし、プロムナードに地域の関心を集めています。
他の市民団体との関わり	清掃活動	中堀川プロムナード水辺愛護会、中白根せせらぎ愛護会と連携して、清掃活動を実施している。
企業等との関わり	プロムナード植栽活動	中堀川プロムナード脇のドラッグストア「クリエイト」から花苗の関する資金提供を受け、植栽活動の一部をまかなっている、
行政との関わり	補助金	(活動内容が行政の補助事業である場合は、補助金交付の部署名と補助金の名称を記載してください) 旭区きらっとあさひ地域支援補助金(旭区区政推進課) 「中堀川いこいの場づくり」で、平成30年度から3年間補助金交付
	ホテル生息を目指す取組	旭区区づくり推進費の「水・緑・花を暮らしに取り入れた旭区魅力アップ事業」の中の「ホテルの舞う里づくり」で、専門家の派遣を受けています。 (旭区区政推進課)
その他、環境以外の分野との関わり	健康プレートの設置	地区の保健活動推進委員より「健康プレート」の設置について相談があり、旭区福祉保健課と相談の上、健康パネルを2か所9パネル設置に協力しました。 健康プレート ・・・区民に健康づくりに取り組んでもらうことを目的に、旭区内の公園を中心にウォーキングや健康増進に関するアドバイスを表示した健康プレートを設置しています。

4 団体の発足経緯／活動を始めたきっかけ、動機

※立ち上げた主体、どのようにして活動に携わる人が増えてきたのか等も合わせ、具体的に記入してください。

※個人の方は、活動を始めたきっかけについて記入してください。

旭北地区連合は、鶴ヶ峰から里山ガーデンへの通り道である、中堀川プロムナードと白根通りの美化をめざし、平成29年度からタウンミーティングや地域福祉保健計画の部会で、話し合いを行ってきました。美化をすることで、中堀川プロムナードを魅力あるいこいの場とすることになりました。

平成29年、旭区の「新あさひみらい塾」事業を活用して専門家(まちづくりコーディネーター、造園設計コンサルタント)の派遣を受け、中堀川の美化やホテルの復活について7回にわたって話し合いや学習を行ってきました。その話し合いの結果を「中堀川いこいの場づくり」として実施計画を立て、平成30年から実施することとなりました。

中堀川プロムナードには、近くの人が日々散策を行い、子どもたちも遊びに訪れる場所でしたので、水辺愛護会や流域の自治会町内会や小学校などと連携していくことで、関わる人々を増やしてきました。

5 今までの活動

活動の目標・ねらいに対する成果

＜プロムナード植栽＞ 企業の協力を得て購入した花苗を、子どもたちや地域の人たちと植栽し、美しいこの場とすることができました。

＜清掃活動＞ 水辺愛護会や近隣自治会にも呼び掛けて、清掃活動を行っています。地道な声掛けをすることで、参加していただく方を増やしています。

＜プロムナードギャラリー＞ 旭北地区の上白根小学校・白根小学校の児童が描いた絵を、それぞれ上流部・下流部に飾り、ギャラリーとしました。子どもたちの中堀川プロムナードへの関心が高まるとともに、保護者など子どもたちを取り巻く人々にも、関心を高めることができました。

生物多様性に関する取組（生物多様性特別賞の選考の参考とします）

＜ホタル生息を目指す取組＞ 令和元年10月、ゲンジボタルの幼虫100頭を専門家から譲り受け、幼虫の飼育を始めました。令和2年3月、他地区から譲り受けたゲンジボタル50頭を含む120頭を放流しました。同年6月4頭のゲンジボタルの飛翔を確認できました。飼育1年目から飛翔を確認できたのは、努力の賜物でした。同年10月、ゲンジボタルの幼虫300頭を専門家から譲り受け、今年整備した飼育棚で飼育中です。

暗渠となった中堀川の流れの上に中堀川プロムナードが整備され、プロムナード沿いにせせらぎが復活し、その中に多くのカワナシ生息が見られます。地元の方々が幼い頃中堀川に多くのホタルの飛翔が見られたとの話と共に人の手によるせせらぎの流れの中にも従来の生体系の一部が復活し、多様性の回復が大いに見込まれ、上位生体系たるホタルの生息もせせらぎ流域の環境整備（上陸地点への砂利敷設・照明遮断のための植樹）を更に進める事により復活可能との思いより活動を開始するに至る。

6 今後の活動方針

※次年度以降の目標や、活動継続のためにどう引き継いでいくのかも含めて具体的に記入してください。

※現在活動休止中の場合でも、今後の活動の見込みや方針について御記入ください。

＜次年度以降の目標＞

・中堀川プロムナードの美化

地域や地元企業の協力を得て、植栽や清掃活動を行います。

地元の子どもたちと植栽を実施することで、「花育」も行います。

・プロムナードギャラリー

地元小学校及び中学校・高校の協力を得て、児童生徒の絵画を飾ります。

児童生徒及びその関係者のプロムナードへの招致を図ることで、環境保全の取組みを広報啓発します。

・ホタル生息を目指す取組

ホタル専門家の指導を受けながら、幼虫の飼育に取り組み、放流を行います。

環境指標ともなるホタル生息を目指すことで、環境活動を推進します。

＜活動継続への引継ぎについて＞

・担い手の確保

活動の様子を伝える広報紙やチラシを作成することで、新しい担い手を発掘します。

楽しく活動することで、口コミで担い手を募ります。

・キーパーソンの確保

活動の主体となる、キーパーソンについては、会員に十分な情報提供を行ないながら、確保します。

7 審査にあたり、最も注目してもらいたい取組、PRポイント

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、第28回は、審査会場でのプレゼンテーション（自己アピール）を実施しません。審査の参考とするため、最も注目してもらいたい取組・PRポイントについて具体的に記入してください。

【例】

- 最も注目してもらい・評価してもらいたい取組
- 一番成果があがっていると思う取組
- 他の団体と異なる自分たちの強み・独自性
- 取組の過程で、どのような努力・苦労があったか など

●最も注目してもらい・評価してもらいたい取組

旭北地区の事業として開始されましたが、平成29年度の「タウンミーティング」や「新あさひみらい塾」の話し合いから、旭北地区だけでなく流域の上白根町内会にも参加してもらったこと。

また、地元の2小学校（上白根小学校・白根小学校）の協力や2つの水辺愛護会とも連携して実施していること。

●一番成果があがっていると思う取組

一番難しいと思われた、幼虫の飼育が7割の生存を確保し、「ホタルの飛翔」が初年度にして見られたこと。ホタルは区の昆虫であり、活動にはずみがつきました。

●他の団体と異なる自分たちの強み・独自性

地域には、中堀川プロムナードや区の虫であるホタルの関心層が多く、旭北地区連合には5000戸近く、上白根町内会には1400戸余りが居住し、子どもたちを含め、今後の活動の主体となりうる担い手確保の可能性は大きいと思います。

●取組の過程で、どのような努力・苦労があったか

- ・いこいの場活動の内容周知、活動参加者の募集、活動内容等の連絡等の手段・方法に関する事項
- ・ホタルの幼虫の飼育は初めてでしたので、「横浜ほたるの会」の指導を受け、懸命に取り組みました。生き物のため餌やりや水替えなど、冬場も2日に1回は作業せねばならず、大変でしたが、取り組むうちに協力者も出てきて、楽しい取組になりました。コロナ禍のため、プロムナードギャラリーの絵画を描いてくれた小学校の児童たちに飼育の様子や幼虫の放流を見せることができなかったのは、残念でした。

【詳細・補足資料（写真等）】

プロムナード植栽・・・プロムナードの上流・下流を近くに住む方が分担して、植栽しています。



下流部の植栽と児童の絵の競演。花と絵を楽しむことができます。



上流部横浜大輪蘭華園際 上流部始点箇所植栽と絵画花壇 植栽終了状況



清掃活動・・・上流と下流の二つの水辺愛護会と連携して実施しています。



「中白根せせらぎ愛護会」（下流部）清掃作業に大原南自治会の子供会の皆さんが参加してくれました。



「中堀川プロムナード水辺愛護会」（上流部）によるプロムナード沿いの草刈り作業に協力しました。

プロムナードギャラリー・・・上流には上白根小学校、下流には白根小学校の児童の絵画を、雨で濡れてもよいよう、ラミネートフィルムコーティングして飾っています。



上流部、上白根コミュニティハウスのギャラリー
上白根小学校の児童の作品です。



下流部、クリエイト裏付近プロムナード景観と県公
社住宅付近フェンス、白根小学校児童の絵画掲示

ホタル生育をめざす取組①・・・平成30年からホタル生育をめざし、ホタルの生態や幼虫の飼育方法について「横浜ほたるの会」の指導を受けています。ホタルのエサであるカワニナは、横浜市で瀬上沢の次に多いそうです。令和元年に幼虫の飼育を始め、令和2年3月に放流しました。



ホタルの幼虫の飼育方法について、専門家の先生から学びます。



ホタルの幼虫のエサとなるカワニナを観察しました。最上流部の噴水の石にはカワニナがびっしり。



ホタルの飼育を学ぶ一環として、ホタルの生態を学びました。アメリカでは、あまり好かれていないとの話にびっくり。



手塩にかけて育てた幼虫を、放流する前に皆さんにお披露目しました。70%の生存率でした。



幼虫の取り扱い方の実習です。飼育時にごみと間違えて流さないよう、注意が必要です。



3月終齢幼虫まで大きくなったので、幼虫を放流しました。祈るような気持ちです
終齢幼虫：ホタルの幼虫は5～6回の脱皮をして、終齢幼虫となり、蛹になるため上陸します。

ホタル生育をめざす取組②・・・令和2年6月、4頭の飛翔を確認し一同感激しました。このホタルの雌と、横浜市の他の雄との間に生まれた300頭の幼虫の提供を10月末受け、2年目の幼虫飼育を開始しました。



6月12日のホタル観賞会、一頭のホタルが女性の手に止まりました。



10月末の上流部、前回ホタルの幼虫を放流したところにはカワナガが生息していました



上白根コミュニティハウスの建物北側に設置された、幼虫育成場所です。ホタルは寒さに強い。

広報活動他・・・活動をお知らせするための広報紙の作成・新規メンバー募集の掲示を行いました。



広報紙を作成し、旭北地区連合自治会及び上白根町内会に回覧しました



プロムナード内に、新規メンバー募集の掲示を行いました。新規メンバーも獲得しています。



旭区福祉保健課の健康づくりプレートの掲示にも協力しました。上流部です。



下流部にも、健康プレートを設置しました。

参加者の声



旭北地区連合自治会
会長

渋谷 八郎 さん

都市緑化フェアにおいて、里山ガーデンが魅力的な拠点になりました。そこ区役所をつなぐのが白根通りと中堀川です。タウンミーティングでも“花と緑の美しいプロムナード”づくりを提案してきました。

新あさひみらい塾が始まると聞いたので、是非にと手を挙げました。将来、白根通りは花いっぱい道、中堀川はホタルが舞うせせらぎにしていきたいと夢を膨らませています。

中堀川は小中高校の教材としても優れた環境だと思えます。中堀川をはじめとして、多くの人が屋外で過ごすことで、安心・安全な地域づくりができます。これからは情報発信と具体的な実践を充実していきたいと思えます。



中堀川プロムナード水辺愛護会
会長

金子 睦雄 さん

川について話題が豊富になったことに充実感を感じています。私は地域のゴミの出し方や減らし方をみなさんに伝える仕事をしてきましたので、中堀川においても自分たちはゴミを拾って水辺の環境をきれいに維持するのが役割だと考えていました。しかし、新あさひみらい塾に参加したことで夢が大きく膨らみ、あれもこれもやりたいと新たな目標ができました。

もともと住民がとても協力的な地域です。きれいな草花を水辺に植えたり小学生の絵を飾ることで、きっとプロムナードを歩く人や活動の協力者が増えてくるでしょう。是非、ホタルが飛ぶまでやってみたいと思えます。



旭北地区
まちぐるみ福祉推進会議
第3部会長

布施 潤二 さん

第3部会では、白根通りと中堀川プロムナードの美化を活動テーマとしていたので、新あさひみらい塾の取組にのっかる形になりました。最初はちょっととまどいました。

横断的にいろいろな団体のメンバーが関わることになりました。アドバイスがあったことで新たな知恵をもらったり、スピード感のある話し合いができました。

地域企業の協力も得ることができ、とにかくやってみよう！という気持ちになっています。実践しながら少しずつ良くしていきたいと思えます。多くの方が歩いてくれる旭区の名所にしたいと思っています。



上白根町内会
福祉部 部長

松田 章 さん

中堀川プロムナード整備では、準備委員会の段階から関わってきました。整備前は深さが3mもある水路でした。かつては用水路であり、周辺には田んぼが広がっていました。

住民と行政が何回も話し合い、みんなの願いが現在の形になりました。上流部はドジョウが住めるような田舎の流れ、下流部は都市的な雰囲気の流れです。

今後は、安心して散歩できて地域に愛される川になるとよいと思えます。子どもたちの絵や花で魅力的な場所にしたいと思えます。なんと言っても子どもたちは未来の旭北の宝ですから、大事に育てていきたいと思えます。

平成29年度

新あさひみらい塾 報告書



中堀川プロムナード
最上流部

旭北地区「中堀川プロムナードの美化」

中堀川プロムナードは、平成18～19年度の2か年にわたり、地域の方々の参加によるワークショップを通じて整備計画を策定しました。平成21年3月に上流部、10月に下流部がオープンしました。それ以来、中堀川プロムナード水辺愛護会の清掃活動に支えられながら、地域の憩いの場として親しまれています。



上流部と下流部
それぞれの
魅力があります。
歩いてみませんか。



新あさひみらい塾

旭区では、平成26年度から3年間、受講生が地域で活動するきっかけづくりを学ぶために「あさひみらい塾」を開催してきました。平成29年度からは、地域の様々な団体等が地域課題解決に向けて取り組む「新あさひみらい塾」を始めました。「新あさひみらい塾」では、地域課題解決力の向上を図るために、具体的な地域課題をテーマに選び、地域の皆様と検討し、課題解決に向けた活動を行います。活動の中で、地域活動の新たな担い手の発掘と育成を行います。

主催：旭区政推進課、地域振興課、特定非営利活動法人横浜プランナーズネットワーク

平成29年度は、 旭北地区のみなさんと 「中堀川プロムナードの美化」に 取り組みました!



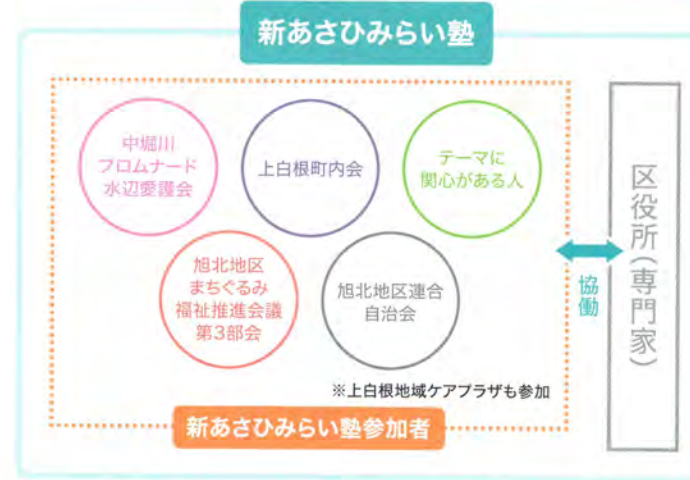
きっかけは?

旭北地区では、花と緑によるまちづくりが進められています。緑化フェアが里山ガーデンで開催されたことを契機に、「鶴ヶ峰駅方面から里山ガーデンへの通り道である白根通りや中堀川プロムナードの魅力を向上させたい」との提案が、タウンミーティングでもされました。

新あさひみらい塾開催にあたり、テーマは「中堀川プロムナードの美化」とし、同じ取組を進めている「旭北地区まちぐるみ福祉推進会議第3部会※(以下、第3部会)」や「中堀川プロムナード水辺愛護会(以下、水辺愛護会)」と連携し、流域の「上白根町内会」も加わり検討を進めることになりました。

※旭北地区の地域福祉保健計画にもとづく組織

検討の体制



中堀川プロムナードは、旭北地区だけでなく、上白根町内会や白根地区にも流れているため、中堀川プロムナード水辺愛護会にも広い地域の方々に参加して、上流部・下流部に分れて活動をしています。そのため、「新あさひみらい塾」には、「水辺愛護会」、「第3部会」、「上白根町内会」、「旭北地区連合自治会」などの団体が横断的に参加し、テーマに関心がある人が自由に参加できる柔軟な組織としました。検討の場には、専門家が加わり、会議の運営や専門的な情報提供を担っています。

話し合いが進むにつれて、参加者の友人・知人への声掛けを行い、地域の小学校や企業への協力も得るなど、活動の輪が広がっています。

活動の経過

第1回

10月9日

活動の様子や将来の展望を共有

水辺愛護会と第3部会のメンバーに集まっていただき、ヒアリングを行いました。第3部会長より今年度の活動の確認、区担当者より「新あさひみらい塾」の概要説明がありました。その後、ざっくばらんに水辺愛護会の活動の様子について紹介いただきました。掃除をしていると、ありがとうと声をかけられるそうです。若いババママに参加してもらいたい、という願いを実現しようと、大いに盛り上がりました。



第2回

10月29日

テーマ・実施体制・進め方の確認

上白根町内会も今回から参加することになりました。今年度は「中堀川プロムナードの美化」を通じて活動の仲間を増やしていきたいと目標を設定しました。そのためには中堀川の環境づくりを進め、上流にはホテル、中流・下流は子どもたちが遊べる親しみのある川にしたい、地域の小学校にもっと関わってもらいたいという願いが語られました。実施体制とリーダーを決め、メンバーも順次増やしていくことにしました。いよいよです。

夢の実現へのスケジュール案作成

これからの一年間でできること、したいことの実施スケジュール案を考えました。中堀川を魅力的にすることで地域のみなさんの関心を高めたい、そのためには、「近隣の自治会や子ども会、小学校の協力を得て春先に小学生に絵を描いてもらう。絵を展示する時期に合わせて花を植える。夏の文化祭や夏祭、秋の満月祭で水辺愛護会のPR。参加者に記念品をプレゼントする」などアイデアがたくさん出ました。



第4回

11月25日

実践に向けた手順の組立

中堀川の美化活動に参加したい人は誰でも大歓迎!という考え方を基本として、リーダーや様々な団体の協力体制を確認しました。前回出されたアイデアを実現するために、PR活動をはじめ、小学生の絵の展示方法、花植えの準備などについて具体的に話し合いました。水辺愛護会の活動を広く知ってもらうことがポイントです。

2つの活動の日程調整

上流部は「美しさ」、下流部は「清潔さ」というキーワードが提案されました。第3部会で作成した水辺愛護会のボランティア募集のポスターを、上白根町内会でも活用することになりました。前向きな活動をめざして、活動参加者の名簿も作成し公表することになりました。花を植える場所や絵を飾る場所などを考えるため、次回、現地を歩いてみることにしました。



第5回

12月23日



現地で実施対象箇所を設定

暖かい時間帯を選んで上流部の現地調査を実施し、小学生の絵を展示できそうな場所、花を植えられそうな場所を探しました。その結果、フェンス等絵を掛けることができる場所は約140m、植栽の候補地は約70mほど見つけました。花は、手始めにみなさんの目につくところ、日当たりのよいところ、子どもたちの絵と合わせやすいところとし、少しずつ増やしていくことにしました。

※下流部も2月10日に有志で現地調査を実施

第6回

1月20日

来年度の実施企画 +花の学習

今回は特別講師として、原智里さんをお招きし、「水辺の植物」についてお話をお聞きしました。「中堀川を歩いて、みなさんが丁寧に維持管理をしている様子が伝わってきました。華やかな花を選ぶなら一年草ですが手間もかかります。地味ですが自然環境に近い演出ができるのは多年草で手間もそんなにかかりません。それに応じて土づくりも変わってきます」と丁寧な講義に、質問や意見交換も活発に交わされました。

最初は上流、下流ともに1か所ずつから始めてみましょうか、という奥村コーディネーターの提案に「上流は7、8か所できるところはどどんやってみよう!」とみなさん、意欲満々の今年度最後の勉強会でした。土づくりや花苗の調達、植える日程まで決めて、来年度の実施が待ちきれません。



第7回

3月17日

